



2月を振り返って

2月に入り、教員採用選考対策に力を入れる人が増えてきていると感じます。模擬面接指導も始まり、いよいよ夏には自分が選考を受けることが実感として湧いてきたのだと思います。今できることは一次試験対策（過去問演習）論文作成（数稽古）面接練習（リアル面接）の3つです。論文もたくさん書いて、教職に対する熱意を表す必要がありますし、面接は真剣勝負なので、その場の雰囲気になれるように場数を踏んでいきましょう。アナウンサーの大橋先生のご指導を思い出してください。初対面の面接官を相手にした時でも、自己アピールで強いメッセージを発信できるように取り組んでいきましょう。

3月の予定

3月も2月に引き続き、模擬面接（個人面接演習・集団面接演習）を行います。1日～9日が個人面接演習、14日～16日が集団面接演習です。集団面接については、1月末に東京都教育庁より、採用選考での集団面接を廃止するという発表がありましたので、千葉県及び埼玉県の受験を考えている皆さんを対象に実施していきます。配布した資料にも載せていますが、**面接は「人間が自分の気に入った人間を選ぶ」選考**です。短い時間の会話のキャッチボールの中で、①自己アピールを行い、②好印象を残す事がポイントです。まずは本番の雰囲気に慣れるところから始めましょう。私も本番モードで臨みますね。

情報提供（令和5年度東京都公立学校採用候補者選考での集団面接の廃止について）

速報！

東京都教育委員会から「令和5年度東京都公立学校教員採用選考（6年度採用）における選考方法の見直しについて」という通知が発表されました。通知によれば、大学4年生での採用選考の負担を減らすために、いくつかの選考方法が変更になっています。変更内容をコンパクトにまとめると以下のようになります。

- ★二次選考は個人面接だけとなり、集団面接は廃止。個人面接の内容※は今まで以上に重視されます。
- ★現在の大学2年生からは3年次に一次選考を受験することが可能となります。
- ★3年次で一次選考に合格した受験生は、4年次の選考は論文と二次選考の個人面接だけになります。
- ★3年次で一次選考に不合格だった受験生は4年次に再度一次選考から受験することができます。

※今後採用選考（特に個人面接）の詳細がわかり次第、皆さんにお伝えしていきます。（下図参照）

【3年生】

一次選考			二次選考
教職教養	専門教養	論文	
○	○	×	×

選考通過



【4年生】

一次選考			二次選考
教職教養	専門教養	論文	
×	×	○	○

不合格



とりあえず一次試験の対策は2年生から始める必要があります。1・2年生は早めに準備を始めましょう。

一次選考			二次選考
教職教養	専門教養	論文	
○	○	○	○

論文作成について（その4）

前号では論文の「本論」について解説しましたが、今回は「まとめ」について説明していきます。本論の役割は、提示された教育課題に対し、自分が教員としてどのような解決策に取り組んでいくのか「具体的に」記述することでした。そこで、「まとめ」では序論・本論を受けて、今まで書いてきた内容に真摯に取り組むことで、教育課題を解決して、よりよい学校を作ってみせませう、という強い決意表明で締めくくることが大切です。そのため「まとめ」でぜひとも記述してほしい内容は以下の2つです。

①理想の学校像又は理想の生徒像

②本論の内容を実践することで①を実現させて見せませうという強い決意表明

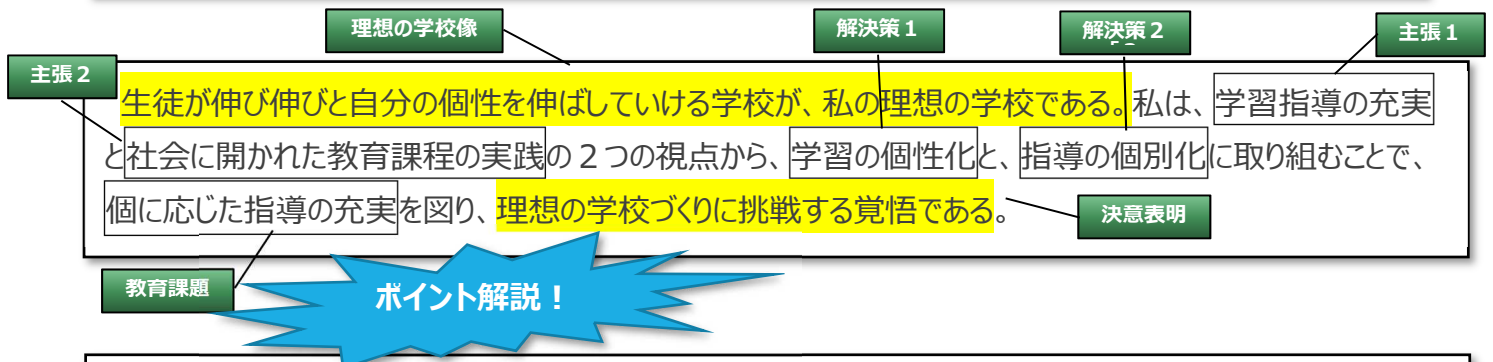
特に最後の一文は強い決意表明で論文を締めくくることが大切です。この一文が評価者に「刺さる」のです。決意表明の例

- 理想の学校づくりに挑戦する覚悟である。
- 生徒の学力向上に全力で取り組む覚悟である。
- 社会に役立つ人材の育成に全力を注ぐ覚悟である。 など

まとめ 例 教育課題：個に応じた指導の充実（2022年東京都A問題）

マインドを感じさせる論文の構成【まとめ編】

- 自分の理想の学校像又は生徒像について、コンパクトに述べる。
- 本論で述べた主張1・主張2の2つの視点から教育課題の解決に全力で取り組み、理想の学校づくり（生徒の育成）に挑戦する覚悟である。（と言い切る！）



- ✓ 理想の生徒像、または学校像を述べる。（必ず一行目に記述する）
- ✓ 本論で取り上げた主張1と主張2の2つの視点から解決策1と解決策2に取り組む、と宣言する。
- ✓ 教育課題を解決することで、理想を実現させる！（と力強く宣言する）
- ✓ 特に最後の一文で力強く決意表明をすることで、論文全体の印象がアップし評価者の心に刺さる。

3回シリーズで、論文作成の手法について述べてきましたが、論文の書き方に絶対的なルールはありません。提示された教育課題に正対し、説得力のある具体的な解決策を示すことができれば、どのように書いてもOKです。しかし、ゼロベースから評価者の心に刺さる論文を作成することは、実は大変難しいことです。そこで限られた時間で説得力のある論文に仕上げるために、小金井教職課程センターでは、ご紹介した「型」に沿って書くことをお勧めしています。この「型」に沿って仕上げることで、多くの先輩たちが合格を勝ち取ってきた実績のある手法です。しかし言うまでもなく、**論文の命は「私が教師になってこの課題を解決してみせませう」という強い決意（マインド）表明です。**スキルだけを追うのではなく、自分の中に確固たる「マインド」＝教職に対する熱い思い、をセットして論文作成に取り組んでいきましょう。皆さんの奮起に期待しています。

教職 TOPICS No.12 学習指導案の書き方

学習指導案には、単元全体の指導計画である「単元指導計画」と、これから行う1時間の授業の流れを時系列で記述した「本時案」があります。現場の教員は、毎時間この指導案を作成するわけではありません。しかし、新しい単元に入るときや、研究授業などの節目で、単元指導計画や本時案を作成することで、指導内容への理解が深まり、自分の授業力の向上に結び付くものなので、その書き方についてはしっかりと身につけておく必要があります。自治体によって推奨するフォーマットが違うこともありますし、学習指導要領の改訂に伴って、記述内容が変わることもありますので、常に最新情報を得ながら修正していく必要があります。ここではあくまでも標準的なフォーマットをお示しいたします。

単元指導計画に必要な項目は、

1. 単元名	2. 教材名	3. 単元の目標	4. 単元の評価規準
5. 指導観（単元観）	6. 指導観（生徒観）	7. 指導観（教材観）	8. 単元の指導計画
9. 単元の評価計画	10. 指導に当たっての工夫		

などがあります。

また本時案に記述する内容は、

1. 本時の目標	2. 本時の展開	3. 学習の狙い	4. 具体的な学習活動
5. 指導上の留意点	6. 評価規準	7. 板書計画	8. 評価計画

などがあります。

単元指導計画の例

中学校 第1学年「理科」 単元指導計画

中高共通・理科
受験番号
氏名

1. 単元名「植物の分類」

2. 題材(教材)名「東京書籍 新しい科学 第1単元 いろいろな生物とその共通点 第2章 植物の分類」

3. 単元の指導目標

- (1)植物のからだのつくりとはたらきに着目し、その特徴と生育環境の関係について説明することができる。
- (2)身近な植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって観察・実験を行い、その結果を分析して解釈し、関係性を見出して表現する。
- (3)植物のからだのつくりとはたらきに関する事物・現象に粘り強く関わり、科学的に探究する態度を養うとともに、生命を尊重し、自然を総合的に見ることができるようにするために、自らの学習を調整する。

4. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の情報を収集するための技能を身につけている。 ・植物から切片を切り出し、顕微鏡で観察することができる。 ・植物の構造について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・得られた情報を整理・比較・関連付けて考えることができる。 ・実験計画を立て、結果を分析して解釈し、適切に表現することができる。 ・植物のからだとはたらきの関係について関連付けて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を進んで分析し、共通点・相違点について科学的に探究しようとしている。 ・他者と協力しながら、表や図を作成し、粘り強く課題を解決しようとする。

5. 指導観

- (1)単元観…本単元は、植物の観察方法・実験器具の使い方・観察記録法等実験委関する基本的な技能を身につけさせるとともに、植物のからだのつくりについて、その働きと関連させて考察し、科学的な見方・考え方を養うことを目指すものである。植物はすべての生物を支える基盤であるが、現状ではそれを意識している生徒が多くはない。この単元を通して、観察・実験の結果から科学的な思考力・表現力を養うとともに、生物の多様性や自然環境との関わりについて総合的に見ることができるように指導していく。
- (2)生徒観…植物はこれまでの生活の中で見たり触れたりしたことはあるが、生活環境や構造について興味や関心を持つ生徒は少ないので、生徒の実態を踏まえ植物の基本的な構造を説明した上で、そのような点に着目して分類が行われているかを明確にする必要がある。
- (3)教材観…様々な植物の特徴を混合してしまう生徒がいるので、写真や動画を活用することで共通点や違いを明確に示しながら、わかりやすく説明していきたい。

6. 単元の指導計画と評価計画(9時間扱い)

時	学習内容・学習活動	学習活動に即した具体的な評価規準【評価方法】
1	身近な植物の分類	・身近な植物について情報を適切に収集している(知・技) ・分類の基準となる特徴を見出し、考えることができる(思・判・表) ・グループで協力し、分類することができる(態)
2	果実をつくる花のつくり	・実や種子と花のつくりの関係について意欲的に探究することができる(態) ・関係を知るための方法について計画を考えることができる(思・判・表)
3	花の観察	・実験器具を適切に使用することができる(知・技) ・花のつくりを観察し、実や種子との関係について、めしべとの関連づけながら表現することができる(思・判・表) ・レポートを適切に作成することができる(知・技)
4	花のつくりの共通点と相違点	・観察結果を基に、共通点や相違点について他者と話し合い、説明できる(態)(思・判・表) ・子房が果実になり、胚珠が種子になることを見出し、種子植物について説明できる(知・技)
5	裸子植物と被子植物	・種子植物と裸子植物の違いについて説明できる(知・技)
6	葉の共通点と相違点	・実験器具を適切に使用することができる(知・技) ・葉の共通点と相違点について意欲的に分析しようとしている(態) ・葉脈と根の形状を関連付けて考えることができる(知・技)
7	シダ植物とコケ植物	・コケ植物、シダ植物それぞれのつくりと増え方について説明することができる(知・技) ・種子植物との共通点、相違点について関連付けて考えることができる(思・判・表)
8	さまざまな植物の分類	・他者と協力して植物を分類し、発表する活動に進んで取り組んでいる(態) ・植物の分類ができる(知・技)

7. 指導に当たっての工夫等

- ・ICT機器を用いて写真や動画を見せることで視覚的に捉えやすくし、学習に対する意欲を高める。
- ・ペアワーク・グループワークを取り入れ対話的な学びを行い生徒の考えを深めるとともに、協働的な学びを実現する。
- ・実際に見て触るという体験活動を通して、生命を尊重する態度を育成する。

本時案の書式例

- (1) 題目 その時間に取り組む学習テーマを端的に示す
- (2) 本時のねらい 3つの要素を踏まえて指導者の立場で書く。
- A 学習内容（～を、～について）
 - B 学習活動（○○を通して、○○と比べて等）
 - C 育成を目指す資質・能力（△△ができるようにする。△△を高めるようにする。□□しようとする態度を育てる。等）
- (3) 展開
- (例) 展開の書式

学 習 活 動	時間	指導上の留意点	評価
◇生徒の学習活動を書く。		<p>◇教師が学習活動を充実させるために何をするのかを具体的に書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">課題等を書く</div> <p>◇予想される生徒の反応と教師の手立てについて、具体的に書く。</p> <p>◇観察・実験で使用する材料器具等を書く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>・予想や考察、まとめ、振り返り等、自分の考えを表現させる学習活動では、その例を示すようにする。</p> <p>→本時でめざす生徒の姿が明確になり、指導の手立てが明らかとなる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">板書計画、補助資料等について書く</div>	<p>◇評価規準、評価方法を書く。</p> <p>○○について説明できる（知識）</p> <p>△△について目的通りの作業ができる（技能）</p> <p>□□を表現しようとする工夫している（態度）</p> 